

文書番号	JIM433-1
制定日	H30.4.2
改訂日	

平成30年度 環境目標一覧表

基本方針	共通目標項目(全所属)	単年度目標	長期目標
1 循環型社会、低炭素社会の構築を目指した一体的な取組の推進	電気使用量の削減	18,032,839kWh以下とする	—
	灯油使用量の削減	410,112ℓ以下とする	—
	ガソリン使用量の削減	6,161.4ℓ以下とする	—
	軽油使用量の削減	43,498.1ℓ(平成29年度実績)以下とする	—
	OA用紙の使用量の削減	1,352.6枚以下とする	—
	ごみ排出量の削減	可燃ごみを1,096.6kg(平成29年度実績)以下とする 不燃ごみを168.6kg(平成29年度実績)以下とする	—
	グリーン購入推進について、特定調達物品等における調達率95%以上の品目数の割合を向上させる。	平成29年度実績(75.5%)以上とする	—

基本方針	所属目標	担当所属
安心安全な施設運営	職員の意識向上のための研修を適宜実施する	安全推進室
	NOx濃度の29ppm(1時間平均値)超過回数を20回以内とする	クリーン21長谷山
	CO濃度の29ppm(1時間平均値)超過回数を20回以内とする	クリーン21長谷山
	NOx濃度の65ppm(1時間平均値)超過回数を6回以内とする	クリーンパーク折居
	CO濃度の30ppm(1時間平均値)超過回数を12回以内とする	クリーンパーク折居
	CO濃度の20ppm(4時間平均値)超過回数を6回以内とする	クリーンパーク折居
	6月から10月までの降雨時期に発生する過剰浸出水の処理量を100m ³ /日以下とする	グリーンヒル三郷山
	不適物等混入に伴う破砕運転休止時間を平成29年度実績(88分/月)以下とする	リサイクルセンター長谷山
点検整備改修工事(その2)において、平成30年度内にN01ペットボトル圧縮形成機の更新を行う	エコ・ポート長谷山	
循環型社会、低炭素社会の構築を目指した一体的な取組の推進	ノー残業デー実施率90%の月を6回以上実施する	総務課
	環境まつりにおいて来場者満足度85%以上を達成する	総務課
	業務に係る苦情を年度ごとに集約分析し、業務改善資料を作成し活用する	業務課
	環境問題等に関するテストを年度内に5回実施し、課員の環境負荷軽減の意識向上を図るため理解度を数値化する(試行的取組)	業務課
	各月の残業時間を平成30年度予算措置時間に対し各月20%減とする	会計課
	平成30年度の残業時間を平成29年度実績に対して5%減とする	施設課
	4台の中継車の燃費を平成30年度1年間に平成29年度の燃費実績に対して維持・向上する	施設課(沢中継場)
	水資源(井水)の使用量削減(下水道排水において使用する井戸水の水量を年間通して712,426m ³ 以下にする)	施設課(クリーンピア沢)
	有色袋の使用割合を年間51%以下とする	クリーン21長谷山
	年間売電量を7,979,520kWh以上とする	クリーンパーク折居
	プラスチック製容器包装廃棄物の資源化率を平成29年度実績(73.25%)以上とする	リサイクルセンター長谷山
ガラス・衣服教室開催数を平成28年度実績値(60回)以上とする	エコ・ポート長谷山	